

数学

同志社大学 全学部日程 [文系] (2 / 5 実施)

<全体分析>

試験時間

75 分

解答問題数

3 題

解答形式

空所補充問題 1 題・記述式 2 題の構成

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・**やや増加**・増加)難易 (易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

空所補充問題では、基本の考え方や定理・公式の適切な運用を問う問題が多い。

昨年より小問が 1 問増えた。

記述式の問題では、論証や過程の説明を要する問題が多い。

その他トピックス

 $\log_{10} 2$ や $\log_{10} 3$ は近似値ではなく範囲で与えられていた。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[I] (1)	三角比	数学 I	有名比を用いて、面積を求める。	やや易
(2)	積分法	数学 II	定積分を含む方程式を解く。	易
(3)	整数	数学 A	n 進法の方程式を解く。	標準
(4)	対数	数学 II	対数の不等式を解く。	やや易
[II]	微分法・積分法 対数 数列	数学 II 数学 II 数学 B	3 次関数のグラフの接線を用いて定まる数列の一般項を求める。また、3 次関数のグラフと接線で囲まれた部分の面積を求め、評価する。	やや難
[III]	ベクトル	数学 B	2 つの垂直二等分線の交点の位置をベクトルで表すことや 3 点が同一直線上にあることをベクトルを用いて示す。	やや難

※難易度は 5 段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

教科書の章末問題と同等な問題が多く出題されている。したがって、定義や用語、公式や定理を正確に把握し、適切に運用する練習を徹底したい。単なるパターン学習や暗記学習では対応できない問題も出題されているので、普段から教科書や問題集を解くときに、解き方だけでなく、そこで登場する公式や定理、数学的な考え方がどのように機能して (うまく使われて) いるかを意識して、学習して欲しい。